
ESET Smart Security 8 リリースノート

キヤノン I T ソリューションズ株式会社

■はじめに

キヤノン I T ソリューションズ製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

このリリースノートには、ESET Smart Security（以後、本製品と記載）を正しく利用頂くための情報が記載されています。

本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていると、本製品がインストールできなったり、動作に支障を来す場合がございます。
- ・本製品をインストールするコンピューターに、次のプログラムがインストールされていることを確認してください。

- Microsoft Internet Explorer 6.0(Service Pack 1)以降 ※

※ my.eset.com をご利用になるには、Microsoft Internet Explorer 8 以上が必要です。

※ 可能な限りセキュリティ修正が行われた最新のプログラムをご使用ください。

■製品マニュアルについて

本製品のマニュアルは、以下の URL からダウンロードすることができます。

個人向け製品 マニュアルのダウンロードページ：

http://eset-support.canon-its.jp/faq/show/318?site_domain=private

法人向けクライアント専用製品 マニュアルのダウンロードページ：

http://eset-support.canon-its.jp/faq/show/318?site_domain=client

■使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

□ESET SysRescue（レスキューCD）作成の注意事項

ESET SysRescue（レスキューCD）を作成するには、Windows 自動インストールキット(Windows AIK) バージョン 6001 以降が必要です。

ご使用のコンピューターに Windows AIK がインストールされていない場合は、マイクロソフト株式会社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロード先 URL(マイクロソフト株式会社)：

- Windows Vista SP1 および Windows Server 2008 用 AIK

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=9085>

- Windows 7 用 AIK

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753>

- Windows 8 用 ADK

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30652>

- Windows 8.1 Update 用 ADK

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=39982>

なお、ESET SysRescue 作成の際、これら必要なプログラムがインストールされていない場合は、作成中の画面にあるリンク先から、これらのプログラムをダウンロードすることが可能です。

□Windows XP 環境で直接 CD-R に ESET SysRescue (レスキューCD) を作成する場合の注意事項

Windows XP 環境で、本製品から直接 CD-R に ESET SysRescue (レスキューCD) を作成するには、Windows 自動インストールキット (Windows AIK) の他に、Windows XP 用 Image Mastering API v2.0 (IMAPI2.0) が必要です。

ご使用のコンピューターに IMAPI2.0 がインストールされていない場合は、マイクロソフト株式会社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロード先 URL(マイクロソフト株式会社) :
<http://support.microsoft.com/?kbid=932716>

□本製品の初期設定について

本製品インストール時に適用される各種初期設定の一部は、個人向け製品として推奨される設定にカスタマイズされています。

したがって、本製品の詳細設定画面で[既定]ボタンをクリックした場合、設定の一部は推奨設定とは異なる値に復元されます。

□Windows 8/8.1/10 の新しい UI 画面 (※) 上での動作について

Windows 8/8.1/10 の新しい UI 画面で利用する場合、下記の注意事項があります。

- Windows 8/8.1 の新しい UI 画面では、ウイルス検出時の通知等は表示されませんが、パーソナルファイアウォールの対話モード時の確認画面、SSL プロトコル検査の証明書確認画面など、一部の画面が表示されません。
- Windows 8/8.1/10 の新しい UI 画面上で利用するアプリケーションについては、パーソナルファイアウォールのルールにかかわらず、既定値では、すべての通信が許可されます。
あらかじめ定義したルールを使用する場合、および、学習モードでルールを作成する場合は、以下の設定を無効にしてご利用ください。

詳細設定画面-[ネットワーク]-[パーソナルファイアウォール]-[IDS と詳

細オプション]-[許可するサービス]-[Metro アプリケーションを許可
(Windows 8 のみ)]

本設定は、初期設定として有効になっています。

あらかじめ定義したルールを使用する場合、および、学習モードでルールを作成する場合は、本設定を無効にしてご利用ください。

※ 新しい UI 画面：

Windows 8 より追加された新しいユーザーインターフェース

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

HIPS サポート機能（ウイルス定義データベースのアップデートで更新可能）
のバージョンが 1185 以前では、HIPS が正常に起動しないことがあります。

本製品を Windows 10 端末に新規インストールし、ウイルス定義データベースを更新した直後または、OS を Windows 7/8/8.1 から Windows 10 へアップグレードし、ウイルス定義データベースを更新した後、
「ドライバとの通信に失敗しました。HIPS が無効です。」という警告が表示される場合があることを確認しています。

その際は、OS を再起動し、警告が表示されず、HIPS が正常に動作していることを確認してください。

詳細設定画面の ThreatSense エンジンのパラメータ設定画面で[既定]ボタンをクリックした場合、既定状態に戻りません。

ThreatSense エンジンのパラメータ設定画面を既定状態に戻りたい場合は、各値を手動で戻してください。

SSL プロトコルの検査が有効な場合に、Firefox を使って Google 等の SSL を使用した Web にアクセスすると、「接続の安全性を確認できません」という警告が表示される。

本製品で SSL プロトコルの検査を有効にしている環境において、Firefox で SSL を用いた Web にアクセスすると、証明書信頼性検証ができず、「接続の安全性を確認できません」という警告が表示される場合があることを確認しています。

本現象が発生する場合は、SSL プロトコルの検査を無効（詳細設定画面-[Web とメール]-[プロトコルフィルタリング]-[SSL]-[SSL プロトコルを検査しない]）にするか、以下の手順を行ってください。

1. 本製品の詳細設定にて、[Web とメール]-[プロトコルフィルタリング]-[SSL]で[アクセスしていないサイトについて確認する(除外を設定できます)]を選択し、[OK]ボタンをクリック
2. 該当の Web サイトにアクセス
3. [暗号化された SSL 通信 信頼できる証明書]ダイアログが表示されたら、[証明書]欄が該当のドメイン（団体）であることを確認し、[除外対象]ボタンをクリック（複数回表示される場合もあります）
4. 該当の Web サイトが表示されることを確認
5. 手順 1 の設定で[SSL プロトコルを常に検査する]を選択し、[OK]ボタンをクリック

自己防衛機能が有効の場合、設定の変更ができない現象について

一部の 64bit OS の環境にて、本製品の[自己防衛機能]が有効な場合に、本製品の設定変更が保存されない場合があります。

現象が発生する場合は、本製品を一度、アンインストールし、再度インストールしてください。また、現象が解消されない場合は、[自己防衛機能]（詳細設定画面-[コンピュータ]-[HIPS]-[自己防衛を有効にする]）を無効にしてください。

ネットワーク共有上からプログラム等を直接実行することができない場合の対処について

サーバー側とクライアント側の両方に、本製品などのウイルス対策ソフトウェアが導入されている場合に、共有された実行ファイルを利用する際、

サーバー側とクライアント側の両方の保護機能によって重複監視されるため、ファイルを実行できない場合があります。

本現象が発生する場合は、クライアント側にインストールされた本製品のリアルタイムファイルシステム保護設定で、ネットワークドライブの検査（[検査するメディア]-[ネットワークドライブ]）を無効にしてください。

□外付けハードディスクを接続するとフリーズする現象について

一部の Windows XP 環境で、外付けハードディスクや USB デバイス等を接続した際に、コンピュータがフリーズする場合があります。

本現象が発生する場合は、OS 起動前に接続して利用してください。

■製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<http://canon-its.jp/product/eset/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<http://canon-its.jp/supp/eset/>